



資料編

- 1 重点目標に関する市・市社協の施策一覧
- 2 各種調査結果の概要
- 3 計画策定委員会（福祉ひろば（地域福祉）専門員会）
のあゆみ
- 4 計画策定の主な経過
- 5 健康福祉21市民会議 名簿
- 6 地域福祉計画策定委員会・地域福祉活動計
画検討委員会 名簿

1 重点目標に関する市・市社協の施策一覧（第6編関係）

「地域の担い手づくり」、「地域の見守り体制づくり・相談窓口の充実」、「地域で見えづらい課題に気づきあう」という三つの重点目標に関する市・市社協の施策一覧です。活用・連携が図れるものなど、地区の取組みの参考にしてください。なお、第6編中に記載のあるものも一覧表に含めています。

（1）「地域の担い手づくり」に関する施策

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
女性指導者海外研修事業 （人権・男女共生課）	市	市	女性指導者
外国人のための防災キーパーソン研修 （人権・男女共生課）	市	市	キーパーソン
各地区人権啓発推進事業 （人権・男女共生課）	地区	地区人権啓発 推進協議会	地区公民館、町内公民館等
各地区男女共同参画推進事業 （人権・男女共生課）	地区	地区人権啓発 推進協議会	地区公民館、町内公民館等
地域防災リーダーの育成 （危機管理課）	市・ 地区	松本市防災連 合会	地域防災リーダー講習会
生活困窮者自立支援制度 （市民相談課）	市	市	地域住民・町内会・民生委員
健康づくり推進員の活動、体力づくりサポ ーターの活動、食生活改善推進員の活動 （健康づくり課）	町会・ 地区・ 市	健康づくり推 進員、体力づ くりサポーター、 食生活改善推 進員（事務 局：市）	福祉ひろば、公民館、地域づく りセンター等
認知症サポーター養成講座 （高齢福祉課）	市	地域包括支援 センター	キャラバン・メイトによる講座
キャラバン・メイト養成研修 （高齢福祉課）	市	市	キャラバン・メイト
町内公民館活動の活動推進・支援 （生涯学習課）	市・ 地区	公民館	中央公民館、地区公民館、町内 公民館
公民館委員活動推進・充実 （生涯学習課）	市・ 地区	公民館	中央公民館、地区公民館、町内 公民館
地域課題の解決に向けた学習 （生涯学習課）	市・ 地区	公民館	中央公民館、地区公民館、町内 公民館

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
地区社協及び分会社協・町会福祉部活動の推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地区社協活動費の助成金（社協会費の3割還元）、地域ささえ愛事業の活用、地区社協役員
地域福祉活動計画の推進及び地区別地域福祉活動計画の推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地域福祉活動推進助成事業の10のメニューによる事業への助成金の活用、地区社協役員
地域福祉コーディネーター設置事業 （社協 地域福祉課）	地区	地区社協	地区のリーダー、地区役員、民生委員、ボランティア
地域支え合い事業 （社協 地域福祉課）	地区	地区社協	地区社協、町会役員、住民、地域づくりセンター
災害ボランティアセンター設置運営訓練 （社協 地域福祉課）	市	市社協	日赤奉仕団員、町会防災部、炊き出し訓練、救命救急法・AED講習会
ボランティアセンター事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	ボランティア、ボランティアグループ、市民活動サポートセンター
ボランティア養成・研修事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	各種ボランティア養成講座、研修、ボランティアグループなどの組織化
松本市ボランティア交流集会 （社協 地域福祉課）	市	市社協	研修、ボランティアグループ活動発表の場
有償ホームヘルプサービス事業 （社協 北部地区センター）	市	市社協	有償による個人ボランティア育成、活動の場の提供
松本市老人大学（プラチナ大学） （社協 施設福祉課）	市	市社協	生きがい講座、高齢者福祉講座、福祉施設視察研修、奉仕活動、高齢者の学びの場、

(2)「地域の見守り体制づくり・相談窓口の充実」に関する施策

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
自主防災組織の活性化 （危機管理課）	町会・ 地区	町会（自主防 災組織）	自主防災組織防災活動支援補 助金、出前講座・市民防災研修 会
高齢者安否確認協力事業 （高齢福祉課）	市・ 地区	市	新聞、宅配弁当、牛乳配達、 コンビニエンスストア他
災害時等要援護者登録制度 （福祉計画課）	町会・ 隣組	市	地域支援者
学校サポート事業（子どもの見守り） （生涯学習課）	地区	公民館	地区公民館、小中学校、関係団 体 他
外国人相談窓口の充実 （人権・男女共生課）	市・ 地区	多文化共生プ ラザ	コーディネーター
健康づくり推進員の活動、 体カづくりサポーターの活動、 食生活改善推進員の活動 （健康づくり課）	町会・ 地区・ 市	健康づくり推 進員、体カづ くりサポーター、 食生活改善推 進員（事務 局：市）	福祉ひろば、公民館、地域づく りセンター等
障害者相談窓口の充実 （障害福祉課）	市	市・団体・事 業所	相談支援事業所
自立相談支援事業 （障害福祉課）	市	市（社協委託）	民生委員・市社協・地域ネット ワーク・ハローワーク・保健 所・教育委員会
気づき見守る地域（自殺予防） （健康づくり課）	町会・ 地区	松本市自殺予 防対策推進協 議会	町会長、民生児童委員 健康づくり推進員等
健康相談・育児相談・訪問 （健康づくり課）	地区・ 市	市	地区担当保健師・保健センター 等
認知症思いやり相談の開催 （高齢福祉課）	市	市、専門医	認知症サポート医、認知症地域 支援推進員
もの忘れ相談会の開催 （高齢福祉課）	市	地域包括支援 センター	地域包括支援センター
認知症カフェの開設 （高齢福祉課）	市	開設者	地域住民、福祉ひろば等
こんにちは赤ちゃん事業 （こども福祉課）	市・ 地区	市	民生委員・主任児童委員 市保健師

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
まつもと子どもスマイル運動 （こども育成課）	市	市	団体や事業所など子どもと関わりを持つ市民
地区社協及び分会社協・町会福祉部活動の 推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地区社協活動費の助成金（社協会費の3割還元） 地域ささえ愛事業の活用 地区社協役員
地域福祉活動計画の推進及び地区別地域 福祉活動計画の推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地域福祉活動推進助成事業の 10のメニューによる事業への 助成金の活用、地区社協役員
ふれあいいきいきサロン事業 （社協 地域福祉課）	町会	各町会	町会役員、ボランティア、健康 づくり推進員、町会公民館
見守り安心ネットワーク活動の推進 （社協 地域福祉課）	市	市社協	町会役員、民生児童委員、隣組 長、隣近所、ボランティア、子 ども見守り隊 市研修会、ふれ あいいきいきサロン事業によ る安否確認、地区社協や高齢者 クラブによる友愛訪問、訪問給 食サービスを通じた安否確認
ふれあい福祉センター事業 （福祉相談窓口） （社協 地域福祉課）	市	市社協	福祉なんでも相談、福祉法律相 談、ボランティア相談、福祉資 金相談、権利擁護相談 弁護士会、専門機関
ふれあい会食会事業 （社協 地域福祉課）	地区	地区社協	65歳以上一人暮らし高齢者、 町会役員、地区社協役員、ボラ ンティア、町内公民館、仕出し 屋、見守り安否確認
生活困窮者自立相談支援事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	民生委員、ハローワーク、生活 保護、専門機関
生活福祉資金貸付事業 （社協 地域福祉課）	市	県社協	民生委員、専門機関
くらしの資金貸付事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	民生委員、専門機関
日常生活自立支援事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	成年後見支援センター、専門機 関
成年後見支援センターかけはし運営 （社協 かけはし）	市	市社協	成年後見制度、権利擁護に関す る相談

(3)「地域で見えづらい課題に気づきあう」に関する施策

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
地域ケア会議の開催 （高齢福祉課）	地区・ 町会等	包括支援セン ター・地域づ くりセンター	地区住民、医療、介護、福祉関 係者
松本市地域包括ケア協議会の開催 （高齢福祉課）	市	市	医療、介護、福祉等各種団体か らの選出者
虐待防止市民啓発講演会 （高齢福祉課）	市	市	高齢者障害者虐待防止ネットワ ーク協議会
認知症市民啓発講演会 （高齢福祉課）	市	市	認知症施策推進協議会
成年後見相談会 （高齢福祉課）	市	市	
地域課題の解決に向けた学習 （生涯学習課）	市・ 地区	公民館	中央公民館、地区公民館、町内 公民館、NPO 等市民学習団体 （実践者）
人権尊重のための学習 （生涯学習課）	市・ 地区	公民館	中央公民館、地区公民館、町内 公民館
各地区の課題に合わせた人権・男女共同 参画に関する事業 （人権・男女共生課）	地区	地区人権啓発 推進協議会	地区の住民
外国人のための災害時対応講座 （人権・男女共生課）	市・ 地区	市	地区に住む日本人・外国人
障害者虐待防止事業 （市民相談課）	市	市	地域住民・施設・ホテル・旅館 等
就労準備支援事業 （市民相談課）	市	市（NPOへ 委託）	NPO・農業経営者・企業
子どもの学習支援事業 （市民相談課）	市	市（NPOへ 委託）	NPO・ボランティア・地域住 民
一時生活支援事業 （市民相談課）	市	市	支援団体・ホテル・旅館
健康相談・育児相談・訪問 （健康づくり課）	自宅・ 地区・ 市	市	地区担当保健師 保健センター 等
地区社協及び分会社協・町会福祉部活動 の推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地区社協活動費の助成金（社協 会費の3割還元）、地域ささえ 愛事業の活用、地区社協役員

施策・事業名（担当課）	エリア	主体	資源
地域福祉活動計画の推進及び地区別地域福祉活動計画の推進・支援 （社協 地域福祉課）	市	市社協	地域福祉活動推進助成事業の10のメニューによる事業への助成金の活用、地区社協役員
心身障がい児（者）激励行事 （社協 地域福祉課）	市	市社協	ボランティア、松本市しいのみ会、手をつなぐ育成会、重度障害児者にとって安心安全に参加できる行事
在宅介護者のつどい （社協 地域福祉課）	市	市社協	ケアマネージャー、包括支援センター、介護者の孤立防止、元気回復を図るためのバス旅行
福祉教育の推進 （社協 地域福祉課）	市	市社協	社会福祉普及校37校・小中学校・高校・盲、聾、養護学校 子どもの福祉学習の場
ふれあい福祉センター事業 （福祉相談窓口） （社協 地域福祉課）	市	市社協	福祉なんでも相談、福祉法律相談、ボランティア相談、福祉資金相談、権利擁護相談 弁護士会、専門機関
生活困窮者自立相談支援事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	民生委員、ハローワーク、生活保護、専門機関
生活福祉資金貸付事業 （社協 地域福祉課）	市	県社協	民生委員、専門機関
くらしの資金貸付事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	民生委員、専門機関
日常生活自立支援事業 （社協 地域福祉課）	市	市社協	成年後見支援センター、専門機関
成年後見支援センターかけはし運営 （社協 かけはし）	市	市社協	成年後見制度、権利擁護に関する相談、専門機関

2-1 各種調査結果の概要 第2期計画の状況調査

調査内容	◇第2期計画に数値目標のある施策について、庁内の各担当課において評価を行うもの ◇調査期間 平成27年1月～平成27年2月まで
調査方法	◇施策の実施状況及び今後の方向性について調査票により回答
調査対象	庁内関係課
実施主体	市
調査結果の扱い	本調査結果をもとに、重点目標の絞込みを行った

〔結果の見方〕

左	第2期計画の基本目標
真ん中	地区別計画の状況調査の結果、第2期計画の基本目標に対し、どれだけの地区で事業実施ができたのか、割合を示したもの。未実施割合の大きいものに色付け。
右	第2期計画の進捗状況調査の結果、数量目標を達成していないものを色付け。

⇒両調査結果の色付け部分の比較を行ったところ、重複する部分があった。それらは地区においても、市としても取組みが進まなかった項目であると考えられるため、今後取組みの支援に力を入れる必要がある。そこで、それらを集約し三つの重点目標を掲げた。

第2期計画の基本目標		地区別計画状況調査より		第2期計画進捗状況調査より
基本方針	施策	地区別計画の取組み	未実施地区の割合	第2期計画の取組み
地域福祉の基盤づくり	担い手の育成	町会福祉の担い手の育成	58%	地域福祉の担い手の育成
		市民活動・福祉NPO等との連携	46%	送迎ボランティア活動の推進
	福祉意識の向上	隣近所の支えあい意識の啓発	50%	※数量目標なし
		福祉教育・人権学習の推進	8%	※数量目標なし
		地域福祉活動のPR	0%	心のバリアフリーの推進 男女共同参画社会の推進
	ボランティア活動の推進	ボランティア活動の啓発	54%	※数量目標なし
		ボランティア活動ネットワークづくりの推進	58%	※数量目標なし
町会福祉の推進	町会福祉推進への支援	町会・町内公民館活動の推進	31%	町内公民館活動の推進
		町会福祉推進への学習・実践活動の支援	65%	福祉ひろば出前事業の充実
		出前講座事業等の活用	38%	出前講座事業の推進
基本方針	施策	地区別計画の取組み	未実施地区の割合	第2期計画の取組み

健康な地域づくり	生きがいきづくり	高齢者等の生きがいきづくり	12%	地域の生きがいきづくり事業の充実
	健康づくりと介護予防	健康づくり事業	0%	
		市民歩こう運動の推進	0%	市民歩こう運動の推進
地域の高齢者・障害者・子どもの支え合いづくり	福祉ひろばの縁側・交流機能の充実	福祉ひろば事業への協力体制	8%	交流活動の推進
		高齢者への生活支援	19%	
	高齢者が暮らしやすい地域づくりの推進	要支援高齢者への助けあい活動の実施	19%	
		高齢者の体験、知恵や伝統文化を学ぶ機会の促進	27%	
		ふれあい会食会、敬老行事の推進	0%	
		認知症高齢者支援体制	認知症サポーター養成講座等	54%
	障害のあるなしに関わらず共に生きる地域づくりの推進	在宅障害者への支援	58%	※数量目標なし
		福祉施設との交流推進	31%	
		福祉施設の専門性を生かす活動の推進	85%	※数量目標なし
		子育てサークルと地域交流支援	4%	地域の子育て支援
地域の子ども、子育て支援	子ども見守り隊活動の推進	23%		
	世代間交流事業の推進	8%		
安心して暮らせる地域づくり	総合相談体制	日常生活自立支援事業と成年後見支援センターの運営		相談体制の強化
	災害に強い地域づくり推進への支援	災害に強い地域づくり推進への支援	15%	権利擁護の促進
		地域の中で見えづらい課題への対応	54%	災害時等要援護者登録制度の推進
	自主防災組織の活性化と防災意識の啓発	自主防災組織の活性化と防災意識の啓発への協力	27%	災害時要援護者支援プランの推進
地域福祉の推進体制づくり	地区の推進体制	地域福祉推進のための体制づくり	12%	
		地域福祉コーディネーターの配置	65%	18地区で設置済み
	市の支援体制	地域福祉計画との連携		
	社会福祉協議会の推進体制	地区別地域福祉活動計画の推進支援		
地域の見守り体制づくり	見守り安心ネットワーク体制づくりの推進	見守り安心ネットワーク体制づくり	19%	
		災害時等要援護者登録制度の活用等による要支援者・ひとり暮らし高齢者の見守り	65%	※数量目標なし

2-2 各種調査結果の概要 地区別計画の取組状況調査

調査内容	◇調査票1 「地区別地域福祉計画」の推進体制や、推進に当たって必要な支援等について ◇調査票2 公民館・ひろば・地区社協・地区独自の取組みなど、地区で行われている福祉活動を一枚のチェックシートに集約し、目的や対象者や内容に重複がないか、不足している活動がないかについて ◇調査期間 平成26年12月～平成27年3月20日まで
調査方法	2種類の調査票について、地域づくりセンターで取りまとめを行う
調査対象	35地区 ◇回答率 74%（35地区中26地区）
実施主体	市
調査結果の扱い	本調査結果をもとに、第3期計画のコンセプトを考案

(1) 調査票1の調査結果

ア 各地区で地域福祉推進に当たり困っていること（複数回答）

地区住民（役員）に地域福祉推進（地域づくり）の考え方が広まっていない	75%
実務を担う職員がいない	33%
推進主体がない	21%
地域福祉推進のための予算がない	21%
相談相手がない、専門家等の協力がほしい	21%
その他	25%

イ 計画の見直し

「地区別計画」の見直しが終了していない地区数（26年度末時点）	33%
27年度以降の「地区別計画」見直し予定あり	58%

ウ 記述式回答欄で、各地区から寄せられた主な意見を項目ごとに分類

住民の意識等に関する課題	担い手不足による自治組織の存続、住民の意識等に関すること
見守り活動に関する課題	見守り体制構築、情報提供、夜間・休日の緊急対応等に関すること
地区で必要とする支援	担当者・専門家の参画、資金、学習会の開催等に関すること
計画推進における課題	地域づくりとの整合性、計画の推進体制等に関すること
福祉ひろばに関する課題	施設・設備に関すること、利用者の固定化等に関すること
その他	子育て世代の支援等に関すること 他

(2) 調査票2の調査結果

前項の「2-1 第2期計画状況調査結果」の中に反映

2-3 各種調査結果の概要 市社協ヒアリング調査

調査内容	◇第3期計画策定の基礎資料とするため、地域ではなかなか見えない課題を把握するため、「福祉施設等の意見の集約」と「課題や困難を抱える方へのヒアリング」を行い福祉全般に対しての福祉課題について ◇調査期間 平成27年8月～平成27年9月まで
調査方法	◇「福祉施設等の意見の集約」として福祉施設職員へのアンケート調査 ◇地域で介護や障がい児・者を抱える当事者の方の意見や課題の聞き取り ◇町会で行われているサロン参加者からの福祉全般に対しての福祉課題の聞き取り
調査対象	◇施設 20施設 ◇個人 25名
実施主体	松本市社会福祉協議会
調査結果の扱い	重点目標推進への取組みを検討する中で活用

(1) 福祉施設等の意見の集約

ア 施設内訳

高齢者施設	13施設
障がい者施設	4施設
児童施設	3施設

イ 地域福祉活動への過去の取組みについて (複数回答)

事業所の主な事業として地域活動を行っている	7
地域貢献事業として地域活動に参加している	7
特に地域活動への参加は行っていない	6
その他(AED・介護保険制度等の講習会、お祭りへの参加 他)	4

ウ 地域活動に参画する際に連携や協力する団体・機関名 (複数回答)

〔既に連携・協力関係にあるもの〕

民生委員	8	食生活改善推進協	3	健康づくり推進委員	1
福祉ひろば	5	地域づくりセンター	2	コンビニ	1
行政	5	包括支援センター	2	シルバー	1
公民館	5	訪問介護事業所	2	シニアグループ	1
町会役員	4	有償ホームヘルプサービス	2	ケアマネージャー	1
地区社協	4	医療機関	2	一般企業	1
ボランティア	4	通所介護事業所	1	図書館	1
小中高校大学	3	インフォーマルサービス	1	青少年育成会	1
保育園	3	高齢者クラブ	1	日赤奉仕団	1

〔今後連携・協力関係を期待するもの〕

薬局・薬剤師会	3	民生委員	1	福祉ひろば	1
各種福祉団体	1	医療機関	1	青少年育成会	1
公民館	1	保健センター	1	小学校	0
地域ボランティア	1	健康づくり推進委員	1		

エ 地域との交流を行っていますか。

交流を行っている	12
交流を行っていない	8

オ 地域とどのような関わりを望んでいますか。

高齢者施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地元での顔が見える関係づくり ・買物支援や雪かき ・利用者のカンファレンス時に民生委員の方に同席いただき情報を伺いたい。 ・地域で行われる会議等への出席 ・施設のある地元町会との交流や災害時の応援、地元の子供達との世代間交流
障がい者施設	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が地域で暮らすことの理解を得るための関わり ・災害時の支援
児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を図りいつでも見守り、見守られるような関わり ・地域の方にお世話になるだけでなく、地域に貢献できるような関わり

カ 今後市が取り組むべき施策はどれを充実すべきだと思いますか（複数回答）。

ボランティアなどの参加の促進や支援	8
住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	6
身近なところでの相談窓口の充実	3
高齢者や障がいがあっても、在宅生活が続けられるサービスの充実	14
保健医療サービスの充実	1
サービス利用者を守る権利擁護や苦情対応などの取り組み	1
福祉教育の充実	2
高齢者、障がい者の入所施設の整備	3
保育サービスや児童福祉施設の充実	3
生活困窮者の自立支援	1

キ その他の意見、要望等

高齢者施設	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがいつでも寄れて情報交換ができる場所（サロン）の設置 ・地域と施設とのつなぎ役をお願いしたい。
障がい者施設	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に事故が無いよう施設の改修 ・災害時の障がい者の援助
児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ・登録児が多く施設の拡充 ・施設の修繕及び備品等の充実

(2) 実際に課題を抱える少数の方の声のヒアリングと集約

ア 対象者

介護を行っている当事者	10人
障がい児を抱える保護者	5人
65歳以上の高齢者	10人

イ 年代 (平成27年5月1日現在)

30歳代	4
40歳代	1
50歳代	1
60～64歳	1
65～69歳	2
70歳代	14
80歳以上	2

ウ あなたは、近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。

とても親しく付き合っている	3
親しく付き合っている	10
あいさつをする程度の付き合い	12
付き合いはほとんどない	0

エ あなたは、町会の活動にどのくらい参加していますか。

よく参加している	7
ある程度参加している	10
あまり参加していない	5
ほとんど参加していない	3

オ 参加しているまたは参加していない理由について教えてください。

65歳以上の 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンは楽しみでいつも出るようにしている。 ・年を取ってから助けられることが多くあると思うので、今のうちからなるべく多くの方と接しておきたい。 ・役員さんが声をかけてくれ、身近な場所での開催のためサロンは参加している。
介護を行っ ている当事者	<ul style="list-style-type: none"> ・同居している娘夫婦が町会の活動は参加している。 ・地区に若い世代がいなく、自分が地区の中でも若い方だから ・町会役員からひろばへ誘われるが、介護のためなかなか参加できない。 ・町会の役員が回ってくるのでその時参加している。
障がい児を 抱える保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子が小学生で町会の活動にはそんなに参加していない。 ・家族が参加できないときに、代わりに参加している。 ・同居の親がお付き合いをしてくれている。

カ あなたは、近所に住んでいる方にどのような支援を希望しますか。

見守りや安否確認の声掛け	8
話し相手	9
買い物や家事、雪かき等の手伝い	6
通院などの外出の手伝い	4
短時間の子どもの預かり	1
災害時の手助け	14
その他	2

ク あなた、あるいはご家族は現在、日々の生活において、主にどのような悩みや不安を感じていますか（あてはまるもの2つまで）。

自分や家族の健康のこと	12
自分や家族の老後のこと	17
生きがいに関すること	1
子育てに関すること	2
介護の問題	8
経済的な問題	1
隣近所との関係	1
住まいのこと	1
災害時の備えに関すること	3
人権問題に関すること	1
悩みや不安はない	2
その他	0

ケ 悩みや不安について誰に相談していますか（あてはまるものすべて）。

家族、親族	19
近所の人や友人、知人	4
市の相談窓口や職員	0
民生委員・児童委員	1
町会などの役員	0
包括支援センターの職員	0
ケアマネージャー	8
福祉サービスの事業所やその職員	5
医療機関	6
社会福祉協議会の窓口や職員	0
どこに相談したらいいかわからない	0
相談できる人や場所がない	0
その他法律事務所	1

コ 福祉の問題に限らずあなたの住んでいる地域で「こういうところをよくすれば地域がもっと住みよくなる」と感じることはありませんか。地域の課題や生活環境、日常生活で困っていることなど、ささいな事でも結構です。

<p>65歳以上の高齢者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険を利用して、日中は誰かが来てくれるので良いが、夜一人暮らしのためさびしい。 ・一人暮らしの方が多いので年を取って困った事があれば気軽に相談してほしいし、支援したいと思うが一人暮らしの人に声掛けが難しい。 ・このようなサロンがどんどん増えるといい。 ・コミュニティバスの巡回時間が使いにくい。 ・近隣の家で物置が敷地いっぱいには造っているため見通しが悪く車の接触が重なり大きな事故に結び付かないか大変心配
<p>介護を行っている当事者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターの充実 ・もっと若い人が住んでくれればいいと思う。 ・公共交通機関のバスの本数が増えると便利になる。 ・医者に行く交通手段がないタクシーを使うが高額である。 ・介護者がけがをした時に困る。 ・地区内に買物をするところが無く近隣の市へ買物に行く必要があるため、高齢者は困っている。 ・高齢者の一人暮らし世帯が多くあと5年もすればほとんど空家になってしまう。 ・隣近所との付き合いが減っている。
<p>障がい児を抱える保護者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所に若い世代がほしい。 ・障がい児を受け入れてくれる施設が近くにあつたらいい。 ・知的障がい児を受け入れる施設は多いが、身体障がい児を受け入れてくれる施設が少ない。 ・外出する時の道路や施設の段差があり困っている。 ・障がい児を抱えていながら、親の介護をしなくてはいけないこと ・障がい児を抱えている家庭なので、今後町会や、隣組の役員が回ってきたときのお付き合いについて心配 ・子供の介護をすることで、働きに出られなくて経済的にも大変

3 計画策定委員会（福祉ひろば（地域福祉）専門委員会）のあゆみ

第3期計画の策定に当たり、平成27年度に次のような取組みを行いました。

第1回 専門委員会 （6月19日）

◇計画の基本コンセプト「場づくり+人づくり→心をはぐくむ」について意見交換

◇グループワーク テーマ「暮らしやすい地域に必要なこと・モノ・人」
〔ワークの概要〕

- ・テーマに沿って三つのグループに分かれて地域福祉の推進に必要なことを話しあい、まとめて発表
- 〔出された意見〕
- ・当事者との接点を持つことが大切
- ・徹底的に話しあう場があるといい。
- ・生きがいや役割を持つことが大切
- ・担い手づくりや、地域の企業や団体を担い手として巻き込みたい。
- ・情報や人をつなぐ機能が必要
- ・関係機関の役割分担が重要



第2回 専門委員会 （8月6日）

◇計画の骨子検討

◇計画のスローガン検討

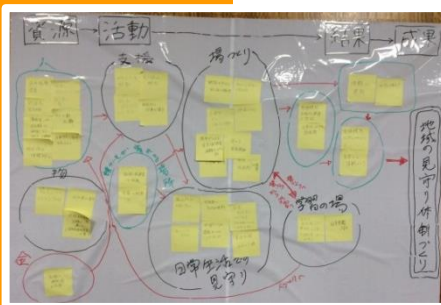
第3回 専門委員会 （11月9日）

◇ロジック・モデル（行動デザイン）を使った計画策定について学習

◇グループワーク テーマ「重点目標“見守り体制づくり”をどのように進めるか」

〔ワークの概要〕

- ・三つのグループに分かれて話しあいをしながら重点目標達成に向けた「行動デザイン」を作成



〔成果物〕

- ・左のような「行動デザイン」が完成した。日頃、各地区での取組みが目に見える形になった。
- ・3グループから提案されたこれらの内容をもとに、事務局で再度、グループワークを行い計画に載せるための「行動デザイン」を作成した。



第4回 専門員会
(12月14日)

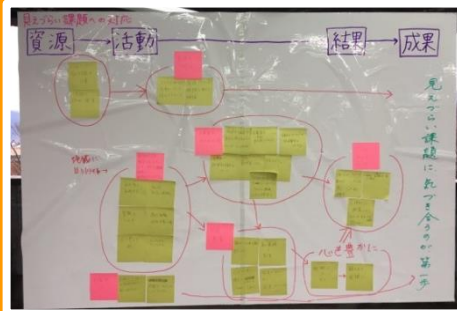
◇グループワーク テーマ「重点目標“担い手づくり”“見えづらい課題への対応”をどのように進めるか」

〔ワークの概要〕

- 三つのグループに分かれて、話しあいをしながら重点目標達成に向けた「行動デザイン」を作成

〔成果物〕

- 前回と同じ手法のワークであったため、内容が整理されていた。



- 話しあいにより主体性が高まる過程を、委員自身が実感したワークであった。

- 地区や町会単位で同じような取組みができるという声があがった。



第5回 専門員会
(2月19日)

◇計画（案）について意見交換

◇計画のスローガン再検討

調査結果の
データ分析

◇この間、松本大学佐藤准教授、市、市社協担当者が調査結果のデータ分析、打合せや、グループワークのシミュレーションを行いました。

5月 14日	調査結果の取りまとめ方法について検討
5月 21日	調査結果のデータ分析作業①
5月 28日	調査結果のデータ分析作業②
6月 9日	調査結果のデータ分析作業③
6月 17日	第1回専門員会グループワークの打合せ
6月 29日	第1回専門員会グループワークの集約
7月 28日	計画骨子の検討、
10月 5日	重点目標の選定、ロジック・モデルによる計画推進の検討
10月22日	ロジック・モデルの学習
10月29日	第3回専門員会グループワークの打合せ①
10月30日	第3回専門員会グループワークの打合せ②
11月 2日	第3回専門員会グループワークのシミュレーション
12月 9日	第3回専門員会グループワークの集約
12月25日	第4回専門員会グループワークの集約
1月 15日	計画推進における市・市社協の役割確認、計画内容確認
1月 27日	計画内容修正、第5回専門員会打合せ
2月 16日	ロジック・モデルの最終確認、第5回専門員会打合せ
3月 4日	第5回専門員会の意見集約、計画内容修正

4 計画策定の主な経過

〔平成26年度〕

10月 3日	第1回 ひろば専門員会	◇第3期計画策定の検討開始
12月 5日	第2回 ひろば専門員会	◇地区別地域福祉計画の調査概要検討
12月～3月	地区別地域福祉計画調査	
1月～2月	第2期計画状況調査	
2月 4日	健康福祉21 市民会議	◇第3期計画の策定について報告
3月18日	第3回 ひろば専門員会	◇第2期計画進捗状況調査結果検討

〔平成27年度〕

6月19日	第1回 ひろば専門員会	◇グループワーク
8月 6日	第2回 ひろば専門員会	◇第3期計画骨子案、スローガン検討
8月～9月	ヒアリング調査	
8月31日	第10回 定例庁議	◇第3期計画の策定について報告
9月 2日	健康福祉21 市民会議	◇第3期計画の基本方針について協議
9月17日	教育民生委員協議会	◇第3期計画の策定について報告
11月 9日	第3回 ひろば専門員会	◇グループワーク
12月14日	第4回 ひろば専門員会	◇グループワーク
12月24日	庁内関係課 会議	◇第3期計画（案）の概要説明
2月19日	第5回 ひろば専門員会	◇第3期計画（案）の内容検討
3月16日	健康福祉21 市民会議	◇第3期計画（案）の協議

〔平成28年度〕

4月27日	庁内関係課 課長会議	◇第3期計画（案）の協議
5月 9日	第3回 定例庁議	◇第3期計画（案）について協議
5月20日	教育民生委員協議会	◇第3期計画（案）の協議
5月26日～	パブリックコメント	
5月27日	民生委員・児童委員協議会	◇第3期計画（案）の概要説明と意見聴取
6月 8日	町会連合会 常任理事会	◇第3期計画（案）の概要説明と意見聴取
6月29日	第1回 ひろば専門員会	◇第3期計画の最終案の検討
6月30日	第7回 定例庁議	◇第3期計画の最終報告
7月 6日	健康福祉21 市民会議	◇第3期計画の最終報告
7月11日	教育民生委員協議会	◇第3期計画の最終報告

5 健康福祉21市民会議 名簿

氏名	所属	備考
青木 奈都子	建設国保組合勤務	
有井 雄人	松本市介護保険事業者連絡協議会 介護支援専門員部会 部会長	
乾 智世	松本市保育園保護者会連盟 会計	
井上 真由巳	松本市健康づくり推進員連合会 会長	
岡本 禮子	健康管理士、食育指導士	
北川 隆一	NPO法人結いの街 常勤理事	
北村 明也	松本市美術館友の会 顧問	会長
草間 秀	町会連合会 会長	
桑原 美由紀	特定非営利活動法人てくてく 理事長	
高橋 昌子	松本市民生委員・児童委員協議会 副会長	副会長
田中 秀長	無職	
等々力 美代子	松本市社会福祉協議会 総務課長	
中嶋 みどり	松本市歯科医師会(学校歯科・口腔衛生センター 部員)	
降幡 和彦	一般社団法人 ぴあねっと代表	
丸山 順子	松本短期大学 介護福祉学科教授	
三浦 末夫	松本市高齢者クラブ連合会 会長	
村山 節子	主婦	
山岸 淳一郎	(社)松本市医師会 副会長	
吉田 宗生	(社)松本薬剤師会 理事	

6 地域福祉計画策定委員会・地域福祉活動計画検討委員会 名簿

(健康福祉21市民会議「福祉ひろば(地域福祉)専門員会」)

氏名	所属	備考
太田 尚行	笹賀地区福祉の地域づくり協議会 会長	会長
大谷 庄司	松岡病院精神保健福祉士	
小林 順子	前本郷地区民生委員・児童委員協議会 会長	
佐藤 哲郎	松本大学准教授	副会長 (~H28.3)
鈴木 岳夫	蟻ヶ崎西町会 愛ぶんぶん	
武居 敏男	庄内地区ボランティアの会	市社協選出委員
中田 安子	元福祉ひろば職員 ／第三地区公民館長	
平林 大喬	島内地区社会福祉協議会 会長	市社協選出委員
平林 八郎	入山辺地区民生委員・児童委員協議会 会長	
三浦 未夫	松本市高齢者クラブ連合会 会長	市社協選出委員
三村 伊津子	城北地区住みよい町づくり協議会福祉部会 会長	
三村 仁志	社会福祉法人中信社会福祉協会	
向井 健	松本大学専任講師	(H28.4~)
百瀬 武味	波田地区福祉ひろば企画委員長 ／波田地区社会福祉協議会 会長	

第3期松本市地域福祉計画・地域福祉活動計画

平成28年7月発行

発行／松本市

〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号

TEL 0263-34-3227 FAX 0263-34-3204

社会福祉法人 松本市社会福祉協議会

〒390-0833 長野県松本市双葉4番16号

TEL 0263-27-3381 FAX 0263-27-2239

編集／松本市 健康福祉部 福祉計画課

松本市社会福祉協議会 地域福祉課

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本